取付説明書

(お客様・工事店様用)



安全のため必ずお守りください

安全のために必ずこの取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 錠本体やハンドル、およびシリンダーは現在設置されているものを使用します。 動作に異常、および各部破損や損傷がないかを確認してから作業を行ってください。
- 既存錠本体の鍵を必ず準備してから作業を行ってください。
- 作業を行うときは、滑り止め付き手袋を着用してください。 金具で手を切るなどけがをするおそれがあります。
- ネジはこの取付説明書に従い、正しく取り付けてください。誤って取り付けると故障の原因になります。
- 取り外した部品は元の状態に戻すときや、応急対応時に必要な場合があります。大切に保管してください。
- 床に落とす、叩くなどして強い衝撃を与えたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。

● 扉の状態や形状、扉の加工状態により、追加で取付加工が必要な場合があります。

● 取り付けの際に、インパクトドライバーを使用しないでください。

強い衝撃を与えると故障の原因となります。

注

- 突起物 (ノブ、ハンドル、シリンダー、サムターンなど) を足場や踏み台にしないでください。 製品機能が低下するだけでなく、滑ってけがをするおそれがあります。
- 扉が作業中に閉まらないよう、解錠状態で半分ほど開き、必ず固定した状態で作業を行ってください。 突然扉が閉まって開かなくなったり、手や足を挟んだりしてけがをするおそれがあります。
- 本製品を取り付ける前に、ドアクローザー(ドアチェック)を必ず取り付けてください。 突風などで突然扉が閉まった衝撃で故障したり、手や足を挟んだりしてけがをするおそれがあります。
- すべての部品を取り付けたら、必ず正常に作動するかを確認してください。
- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどを使用すると、 変形や変色、ひび割れなどにつながるおそれがあります。

本製品の故障やお問い合わせについては、当社ホームページから特設サイトをご確認のうえ、ご相談ください。

株式会社ゴール ::: GOAL SINCE 1914

T 532-0032 大阪市淀川区三津屋北 2-16-6 TEL (06) 6309-1271 (代)

https://www.goal-lock.com



※品番の "BSL" は、「LaresIA (ラレシア)」を示します。 ※品番の "BSLO" は、「LaresIA+(ラレシアプラス)」を示します。

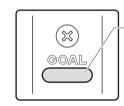
取り付けを行う前に

■ 既存部品の取り外し

本製品を取り付ける前に、既存のシリンダーとサムターンを取り外します。 作業を行う前に錠本体の種類(LX タイプ、TX タイプ)を必ずご確認ください。

● LXタイプ、TXタイプの詳細については当社ホームページから特設サイトをご確認ください。





2 サムターン摘みのネジを取り外す

4. シリンダーとサムターン胴を取り外す

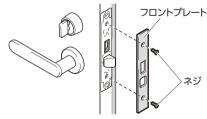
サムターン摘み

〈LX タイプ〉 (AS,LX)/(LG)/(HD)など 〈TX タイプ〉 (TX)/(SK)など

▼ LX タイプ

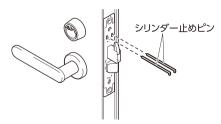
1. フロントプレートを取り外す

● ネジ2本を取り外します。



3. シリンダー止めピンを取り外す

● シリンダー側、サムターン側の2本を取り外して ください。



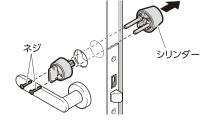
▼ TX タイプ

シリンダーとサムターンを取り外す

- サムターンのネジ2本を取り外します。
- サムターンのネジは隠れている場合があります。 ● 取り外したサムターン側のネジは使用しません。

サムターン胴のネジ2本を取り外します。

● 取り外したサムターン側のネジは使用しません。



各部の名称

リーダーユニット

- 両面テープ取付型の場合は、背面に両面テープが付きます。
- 柱取付型の場合は、背面に連結柱が付きます。



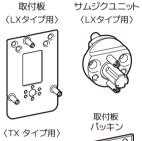
シリンダーカバー





〈クローズ型〉 ● オープン型とクローズ型の 2 種から選択し取り付けてく ださい。

- ※ 次のシリンダーはクローズ型を取り付けることができま せん。
- ・TX タイプのシリンダー
- ・LX タイプの GV シリンダーで扉厚 36mm 未満の場合
- 付属品 ※1:名称の「サム」はサムターン、「シル」はシリンダーを示します。









扉厚調整用

〈LXタイプ用〉



ネジ類など 取付板固定用 LXタイプシリンダー



防塵パッキン

サムターンユニット

● 2ロックセット(オプション)にはサムターンユニットが

電池ケース

CARD ボタン

オプション品

単四アルカリ乾電池(2本)

USB Type-C

△ ※USB Type-Cコネクタは、メンテナンスの際に使用

します。故障の原因となりますのでメンテナンス用 機器以外の接続は絶対に行わないでください。

開閉センサ

● 取付取扱説明書

両面テープ (2種)

コネクタ (キャップ付)**

PP P

PIN ボタン

2個付属し、上下の区別があります。 上下ラベル







● 取扱説明書、取付説明書、クイックガイド、リーダーユニット取付型紙

※2:取付タイプのセットによっては付属されていない物や数量が異なる場合があります。 ※3:2ロックセット(オプション)にはシルスペーサーやリーダーユニット用部材などを除き、付属品が2セットずつ付属します。

※4:BSLOにクイックガイドは付属しません。

2 リーダーユニットの位置を決める

本製品を組み付ける前に、リーダーユニットを取り付ける位置決めを行います。

位置決め方法は、両面テープ取付型と柱取付型で異なります。

- 位置決めを行う前に、必ずリーダーユニット取り付け部の汚れを脱脂剤等できれいに拭き取ってください。
- 既設扉を加工して柱取付型を取り付ける場合は、付属の型紙をご使用ください。

1. リーダーユニットを仮付けする

シリンダーの穴に合わせて取り付けます。



3. 水平、垂直方向を合わせる

- リーダーユニットを扉の端、垂直方向に合わせます。
- 合わせたら、水平方向も合っていることを確認してく ださい。



2. 取り外したシリンダーを合わせる

● 穴に合わせてからシリンダーを下に約 2mm ずらし て奥まで差し込んでください。(LX タイプのみ)



4. 位置決めラベルを貼り付ける

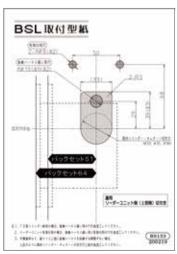
- 水平、垂直を合わせながら位置決めラベルを貼り付 けます。
- ラベルを貼り付けたら、シリンダーとリーダーユニッ



🛭 取り付けに必要な資料、情報

▼ リーダーユニット取付型紙 ● 既設扉を加工して取り付ける場合は、必

ず型紙の内容に従って作業を行ってくだ



▼ シルスペーサーの引き当て表

• GV、V18、GP 6本ピン[P]、7本ピン[Z] 扉厚 以上~未満 扉厚 以上~未満 t=1 t =2.6 t=1 t =2.6 t=1 以上~未満 t =2.6 (mm) 33-34 不要 不要 34-38 1枚 不要 39-41 不要 1 枚 不要
 1 枚
 不要

 不要
 1 枚

 1 枚
 1 枚

 42-44
 1 枚
 1 枚

 44-47
 不要
 2 枚

 47-49
 1 枚
 2 枚

⚠ スペーサーの枚数は間違いないように、確認してから取り付けてください。 ⚠ 扉への穴加工が行えない場合は、シルスペーサーを使用しません。 詳細は、当社ホームページから特設サイトをご確認ください。

▼ 扉厚調整田ライナーの引き当て表 (L Xタイプのみ)

が存品を行うして もりに 日で歌(ヒバン・トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
扉厚 以上~未満	扉厚調整用スペーサー(ライナー)				シリンダー	取付板	カラー
以上~未満 (mm)	t 1	t 2	t 3	t 5	取付ネジ(1)	取付ネジ(2)	シール
33-34	_	-	-	-			
34-36	0	-	_	_]	M4×8(2本)	赤
36-37	_	0	_	_]		
37-38	-	0	_	_]		
38-40	-	-	0	_	1	M4×10(2本)	青
40-41	0	-	0	_	1		
41-42	0	_	0	_	M5×40		
42-43	-	_	-	0	(2本)	M4×12(2本)	黄
43-44	_	_	_	0	共通	1014 / 12(24)	щ
44-45	0	_	_	0			
45-46	0	-	_	0]		
46-48	_	0	_	0]	M4×14(2本)	緑
48-49	_	_	0	0]		
49-50	_	_	0	0]	M4×16(2本)	Á
50-51	0	_	0	0]	NI → ∧ I U (Z 本)	

取り付け方法

■ リーダーユニットの取り付け

取り付け方法は、両面テープ取付型と柱取付型で異なります。

- 作業を行う前に、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り外してください。
- 1. 錠本体を取り外す

 - ▼ 両面テープ取付型のみ



3. リーダーユニットの配線を诵す

● リーダーユニットの配線を下図の通りに通します。

△ 配線を無理やり引っ張ったり、切断や損傷したりしな いようご注意ください。

▼ 両面テープ取付型







⚠ TX タイプで配線用の穴を設けられない場合は 必ず専用のライナー付きシリンダーに交換ください。

5. 錠本体を取り付ける

- リーダーユニットの配線が錠本体の上を通るようにたるませてください。
- 錠本体の上を配線が通るように慎重に錠本体を取り付けます。
- 錠本体を取り付けたら、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り付けて

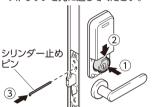
⚠ 錠本体で配線を挟み込まないように十分注意してください。

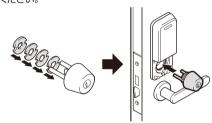
6. シリンダーを取り付ける

〈LX タイプの場合〉

〈TX タイプの場合〉

- ストラップを先に通してください。
- シリンダー側のシリンダー止めピンを 表*を参考に扉厚に合わせて使用するシルスペーサーの枚数を調整してくだ
- ※ クローズ型シリンダーカバーの場合は、※ シルスペーサーの引き当て表は裏面の「図 取り付けに必要な資料、情報」





日 サムターンユニットの取り付け

取り付け、固定を行う前にリーダーユニットの配線をサムターンユニットに接続してください。

● 取り付け方法はすべて(オプションを含む)共通になります。2 ロックセットについては取り付ける向きに合わせてください。

- - 電池カバーを浮かしてから、前方向に取り外します。
- ※ 傷付き防止のため先端に布などを巻いてください。
- 2. リーダーユニットの配線を防塵パッキンのスリットに通す
- ※ 向きに注意してください。

3. リーダーユニットの配線を接続する

- サムターンユニット左側(背面視)のコネクターに 接続してください。
- 注意して収納してください。

- サムターンユニットに防塵パッキンを取り付けます。
- 確認してください。
- ▲ 2 ロックセット(オプション)の場合、下側サムターン

5. サムターンユニットを固定する

- 取り付ける前にサムターンの向きが縦で扉が解錠状態に なっていることを確認してください。
- 取付板に固定します。

6. 右勝手、左勝手を設定する

- 右図を参考に右勝手、または左勝手を確認してください。
- 重いことがあります。
- ください。

7. 電池を取り付ける

- 電池ケースを取り外し、極性マークに合わせて⊖側から取り 付けてください。
- (別売)を必ずご使用ください。

▲ 新旧、および異なる種類(アルカリ、マンガン など)の電池を使用しないでください。故障の 原因となります。

8. フロントカバーを取り付ける

6

● 確実に取り付けられたことを確認してください。

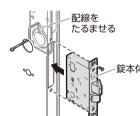
- 2. リーダーユニット裏面の剥離紙を剥がす リーダーユニットは両面テープで固定します。



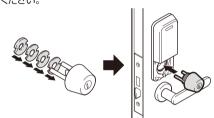
4. リーダーユニットを貼り付ける

- 位置決めラベルとシリンダーの穴に合わせながら 水平、垂直を確認して慎重に貼り付けてください。
- ▼ 両面テープ取付型のみ





- 取り外したシリンダーを取り付けます。 取り外したシリンダーにシルスペーサーを取り付けます。
 - さい。
 - をご参照ください。



- △ サムターンユニットを取り付ける前に、サムターンを何度も回さないでください。故障の原因になります。
- 1. サムターンユニットのカバーを取り外す

 - フロントカバーの切り欠き 2 箇所に⊝ドライバーを順番に 差し込んで勘合を外し、前方向へ取り外します

 - サムターンユニットの防塵パッキンを取り外します。 ● リーダーユニットの配線を防塵パッキンのスリットに通します。

- ▲ 余った配線が可動部や取り付け部に干渉しないよう

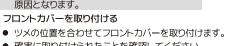
4. 防塵パッキンを取り付ける

- ▲ 防塵パッキンが確実に取り付けられていることを
- ユニットにも防塵パッキンが取り付けられていることを 必ず確認してください。

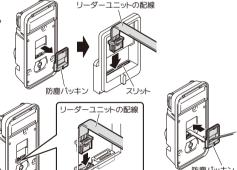
- サムターンユニット本体固定用 M3.5×10 ネジ3 本で

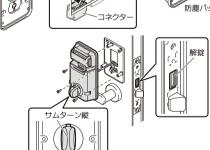
- 扉を一度閉めてからラベルに従い、右勝手、左勝手方向に サムターンを回します。
- 右勝手、左勝手の初回設定時は、サムターンを回すときに
- 右勝手、左勝手の設定が終了したら、ラベルを剥がして

● 設置する地域が寒冷地の場合は、単三リチウム乾電池

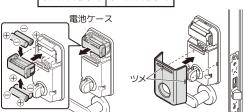












2 サムターンユニット取付板の取り付け

取付板は錠本体(LX、TX)により異なります。錠本体に合わせた取付板を選択してください。

- シリンダーの穴を通したリーダーユニットの配線を挟み込まないように注意して取り付けてください。 ▼ LX タイプ
- 1. シリンダーにサムジクユニットを取り付ける ● サムジクユニットにサムターン側のシリンダー止めピ
- ンを差し込みます。 表*を参考にネジ(1)を選択し、サムジクユニット
- をシリンダーに固定します。
- 扉厚に合わせて使用する扉厚調整用ライナー* の枚数を調整してください。





● サムジクユニットの位置決めピンを合わせて取り付けます。 ● 表*を参考にネジ(2)を選択し、取付板をサムジク ユニットに固定します。 ※1 扉厚調整用ライナーの引き当て表は裏面の

「图 取り付けに必要な資料、情報」をご参

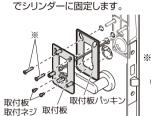
2. サムターンユニット取付板を固定する

扉厚調整用 取付板パッキン 取付板 取付ネジ取付板

※2 リーダーユニット柱取付用 M4 × 25 (柱取付型のみ使用)

▼ TX タイプ

- 1. サムターンユニット取付板を固定する
- 取付板を M4×12 のネジ2本 (カラーシールなし)



※リーダーユニット 柱取付用 M4 × 25 (柱取付型のみ使用)

2. 扉厚に合わせて十字軸を調整する

● 十字軸を奥に当たるまで押し込んでください。



▼ LX タイプ / TX タイプ 共通

- 3. 取付板および取付板パッキンが扉に密着して固定されていることを確認する
- 取付板の取り付け後、指で取付板パッキンを押し、取付板パッキンがずれたり、動いたりしないことを確認してください。

△ 取付板パッキンがずれたり、動いたりする場合は、取付板と扉の間に隙間があります。扉厚調整用ライナーの枚数を 減らす(厚みを減らす)などして、取付板パッキンが密着して固定されるように取付板を取り付けてください。 また、2ロックセット(オプション)の下側サムターンユニットについても、同様に取付板を取り付けてください。

■ 2ロックセット(オプション)の取り付けについて

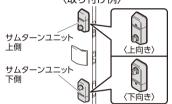
「サムターンユニット取付板の取り付け」に従い上側と下側とも取付板を取り付けてください。 ※ サムターンユニット上側、下側については「各部の名称」の L下ラベルをご確認ください。

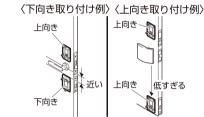
▼ 下側サムターンユニット取付板の取り付けについて

「既存部品の取り外し」に従い、既存のシリンダーとサムターンを取り外してください。

● 下側にリーダーユニットはありません。既存のサムターンを取り外し、サムターンユニットを取り付けます。

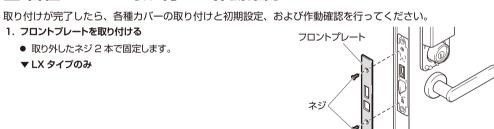
● 下側サムターンユニットは、上側との無線ペアリングにより連動して作動しますので、配線等の接続はありません。 取り付けの向きは、ハンドルの位置や扉の意匠、お客様の要望に合わせて取り付けてください。 〈取り付け例〉





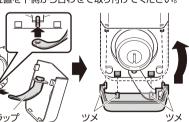
4 各種カバーの取り付けと作動確認

- 1. フロントプレートを取り付ける
 - 取り外したネジ2本で固定します。 ▼ LX タイプのみ



2. リーダーユニットシリンダーカバーを取り付ける

- ▼ クローズ型* ※ 次のシリンダーはクローズ型を取り付けることができません。
- ・TX タイプのシリンダー ・LX タイプの GV シリンダーで扉厚 36mm 未満の場合
- カバーにあるストラップをリーダーユニットに取り付けます。 ● ツメの位置を下側から合わせて取り付けてください。



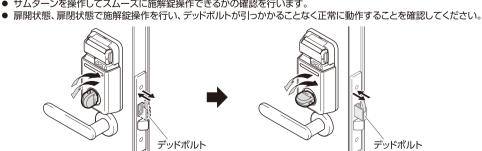
〈扉閉状態〉

▼ オープン型



ストラップ

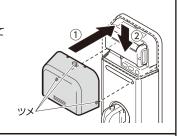
- 3. 施解錠動作の確認を行う
 - サムターンを操作してスムーズに施解錠操作できるかの確認を行います。



4. 電池カバーを取り付ける

- 下側のツメ2箇所を合わせて取り付け(①)、(②)の方向にスライドさせて ツメ3筒所を勘合させます。
- すべての部品が確実に取り付けられていることを確認してください。

〈扉開状態〉



GOAL